

㈱京都西川取締役営商本部部長	小山田修二 様
山甚物産㈱リビング本部部長	丸山 敦司 様 (欠席)
田村駒㈱第2事業部第3部課長	松田 巧 様 (欠席)
㈱大津コーポレーション商品部長代理	桑畑 康之 様
日本羽毛製品協同組合 専務理事	山本 正雄 様
西川産業㈱品質管理室シニア M (RFID メンバー)	根本 宏幸 様 (欠席)
東レ㈱GO 事業部主幹	堀野 哲生 様 (欠席)
東レインターナショナル㈱電子情報材料部主任	瀬尾 尚也 様
西川産業㈱システム企画部課長	山本 重次郎様
田村駒㈱第2事業部第4部部長	高松 秀明 様 (欠席)
㈱京都西川経営業務推進室マネージャー	福永 博樹 様 (欠席)
㈱繊維情報システムセンター社長	金谷 範之 様
JBA: (一社) 日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良 中村 富夫

## JBA 第5期：第1回 需要創出・啓発委員会 議事録

### 記

1. 開催日時 平成30年5月24日(木) 13:30~16:00
2. 開催場所 (一社) 日本寝具寝装品協会 日本橋小舟町事務所内  
東京都中央区日本橋小舟町7-2 小舟町243ビル7F ☎ 03-6661-0213
3. 議題(1) RFID タグ実証実験用助成金申請について
  - (2) J-TAS 羽毛原料のトレーサビリティ監査・認証システムについて
  - (3) まくら品表、ふとん、ウレタン敷製品表記について
  - (4) J∞QUALITY まくら、タオル商品認証について
  - (5) その他

#### 議題(1)

奥谷専務：厚労省宛の助成金申請書も準備していたが、予算審議も遅れ、助成金上限額 10.0 百万円に減額措置等があったが、受付は5月から開始された。

金谷社長：(資料あり)厚労省と、全国中小企業中央会の助成金事業の説明する。

奥谷専務：全中担当者にはステップバイステップでの計画 OK の打診頂いたが、6割助成であるので、初年度は厚労省で実証期間も短期間なので申請検討してみたい。

金谷社長：5月中に申請書だすなら、見積書添付が必要である。機器類購入先等絞り込みが必要となるので討議願いたい。

山本課長：(資料あり)ゲートとハンディが購入必要であるが、PCは現状品で足りると思う。富士通は基礎データあり、サーバーはクラウド環境が早く、安くはないが予算内には入りそう。ランニングコストもクラウドで月額30~40万円を見込まざるを得ないがパッケージもあり利用できそう。

瀬尾主任：クラウドは富士通でなくても、アマゾン他中小もあり、もっと安価であろう。

山本課長：JBAでのサーバー管理となると、中小先では無理だと思われる。

瀬尾主任：東レでも月額パッケージレンタルもある。今回製品タグの付着はしないのか。

山本課長：初年度タグの付着は、一部である実験用製品にタグが付着状態で消費者まで流通する可能性の問題点もあり、検討の余地があると思う。

奥谷専務：10.0 百万円予算でサーバー設置し試験 2 ヶ所でハンディ設置し、オペレーションの見積もりが欲しい。また、中小業者に委託したら専従者が必要なのか。  
金谷社長：項目別で 10.0 百万円なのですが、項目間の多少のやりくりが可能なかどうかもある。

奥谷専務：申請時見積もりが必要であり、5 月 31 日厚労省に申請する。東レ製カーボンナノチューブも期待している。オカバマーキングシステムにも見積依頼したい。

#### 議題(2)

山本委員：(資料あり)概要説明する。

奥谷専務：J-TAS 会には、加工賃ベースの工場は加入しなくてよいが産地表示羽毛の売り買い先は全て加入して頂き、TC(商取引証明書)が不可思議な会員は臨時監査をする。6 月 21 日 JBA 総会で説明承認を得て、8 月入会受付、2019 年秋物から市場展開する予定である。

小山田委員長：監査機関としての QTEC の立ち位置はどうなっているのか。

奥谷専務：国内監査業務は QTEC、海外監査機関は IDFL での連携運用を検討中である。

#### 議題(3)

中村 JBA：(資料あり)まくらの品質表示規程に基づくラベル表記(案)と、羽毛と化繊わたの掛け、合掛けふとんと、ウレタンフォーム敷マット、トッパー等の購入目安になる JBA 性能評価ラベルの(案)を説明した。

展開スケジュールは、6 月 21 日 JBA 総会説明し、8 月業界説明会開催し、10 月展示会ラベル発表、2019 年春物から市場展開を考えている。

小山田委員長：ラベル認証にあたっての試験機関等はどこなのか。

中村 JBA：生地、詰めもの等の検証用データは、国内紡績メーカーや、公的検査機関での証明書とし、無い場合はボーケン品質評価機構で試験実施と、ラベル性能評価点数の認証を検討している。

#### 議題(4)

中村 JBA：(資料あり)タオル企業と商品認証は、縫製親子企業認証(子企業 10 人以下で織機 20 台以下規模)が認められた。

6 月 1 日より J∞QUALITY 事務局で認証受付開始する。

まくら企業と商品認証は、J∞QUALITY 事務局と 5 月 30 日最終打合せして、製品のこだわり重視の商品認証となり、スタートしていく。

これで全ての寝具類はノミネートできる体制になり、官民一体事業である J∞QUALITY 商品が、本年 11 月開催の中国輸入博覧会等へ出品され、海外への戦略基軸となってほしい思惑がある。

#### 議題(5)

小山田委員長：RFID 実証実験助成金事業の内容が委員会活動の当面根幹をなすので、申請状況、認可承認後に次回委員会開催し具体的策を検討したい。

奥谷専務：現状は、委員会開催日時未定として決定次第連絡を致します。

以上